

平成29年度 第4回生駒市環境マネジメントシステム推進会議 記録要旨

1 日時 平成29年7月31日（月）午前9時30分から午後5時

2 場所 生駒市コミュニティセンター 文化ホール

3 出席者

○生駒市環境マネジメントシステム推進会議委員

青木委員、奥田委員、楠下委員、楠委員、小宮山委員、桜井委員、寒川委員、新海委員、辻垣委員、寺内委員、中畑委員、藤村委員、宮崎委員、宮地委員、矢田委員

○事務局

川島環境モデル都市推進課長、大窪環境モデル都市推進課課長補佐、北里地球温暖化対策係長、竹田、櫻井、鈴木

4 会議の要旨

○事務局より本日の作業の流れを説明（資料1）

○環境モデル都市推進課のH28年度取組に関する質疑応答、意見等

◇前回質問のあった電気自動車の活用について

→H28年度 走行距離：1,068km 利用回数：48回（内他所属の利用回数：11回）であった。周知不足であり改善する。CO₂削減効果は出せていないので、確認する。通常、ガソリン車の1/2といわれている。

・利用回数が年間で48回というのはかなり少ないのではないか。

→記録上の数字であるが、実感としては48回よりも多く利用していると思う。

◇項目が多く全体の流れが掴みにくい。省エネ・再生可能エネルギーなど大きなテーマに分けたほうがわかりやすいのではないか？環境モデル都市推進課の帳票にECO-net 生駒の活動を入れた方がよいのではないか？

→帳票の変更はできないが、報告の仕方を工夫してみたい。ECO-net 生駒の取組が帳票にないので、年間取組をこのような場で報告することも必要かと思う。

◇他所属との連携、取組事例を紹介してほしい。

→環境モデル都市推進課は、各課の取組に横串を通していく役割だと思っている。都市計画・まちづくりの部門には、住宅の省エネ化やコンパクトシティ化など、根幹となる部分を検討してもらいたい。食のバリューチェーン事業においては、入

り口として環境保全課が所管する資源化できる廃棄物の利用、出口として経済振興課と連携して農業振興を図る、といった大きな絵を描いており、単独では進められない。前回の会議で報告したバイオコークスの活用は、横串を通せる事業になりえると考えている。交通については、交通施策の所管課である防災安全課、都市計画部門、環境モデル都市推進課と一緒に考えていかなければならないと思っている。

◇カーボン・オフセットの導入について

- ・クレジット購入によって CO₂ を削減したことになっているが、本来であれば、どれだけ頑張っても削減できなかった CO₂ 分を買う、ということだと思う。他所属が開催するイベントでも導入する、と書かれているのはおかしいのでは？例えば、環境フェスティバルも気候が良い時期に開催すればエアコンも使わなくてもすむ。削減努力が足りないように感じる。安易に他所属に勧めるのはいかがなものか？
- オフセットしている量は 4t 程度の微々たるもので、削減の大部分は再生可能エネルギー、省エネなどを主軸として行っている。CO₂ 排出量算定等手数料は、環境フェスティバルで 49,140 円、環境シンポジウムは地域エネルギー会社のパートナー事業者である大阪ガスが負担している。削減方法として、色々な手法があるうちの一つであり、啓発の意味合いが大きい。
「イベントをすると CO₂ を排出している」ということを他所属にも理解してほしい。そういう視点で今後はやっていきたい。

◇カーボン・オフセットを購入する意味を再確認したい

- 市として年間の枠を決めているということは無い。イベントを開催することにより排出する CO₂ を 0 にしようという考え方である。通常業務でも CO₂ を排出するが、現時点ではカーボン・オフセット購入は行っていない。市全体で基準化はできておらず、周知の一環として実施している。

◇紙の削減について、組織体制が機構改革等で大幅に変わったことが要因にあるのならば、その旨記載したほうが良いのではないかと。単純に前年比較はできないと思う。

- 次年度以降、表現に気をつけたいと思う。

◇本来業務の中で、各部門が環境配慮を意識し、どうすれば効率的・効果的に進められるかが大切。そのリーダー役として環境モデル都市推進課があると思っている。合意をとりながら、市役所全体として推進できるように期待している。

◇新電力会社もでき、再生可能エネルギーをどう広めていくかという視点で政策をま

とめてもらえると、市民もそれに沿って動くことができるのでよろしく願いしたい。

◇集合住宅の LED 化補助について、集合住宅だけ優遇する理由は何かあるのか？

→この補助は集合住宅の共用部分が対象となっており、個人宅への補助ではない。効果が大きいという点から取り入れている。一般家庭向けには 5 年間続いてきた省エネ家電買い替え補助の中に LED 照明が含まれていたが、夏の電力需要も安定してきた為、28 年度をもって終了した。

外の電気にはあまり目が向けられていなかったため、今後は公園なども LED 化を進めていく予定。

◇近畿大学と連携した参加型プログラムについて、優良事例として取り上げたいと考えているが、詳しい説明がほしい。

→27 年度は、もともと実施していた出前授業の依頼が無かった。学校側のニーズと合致していないのではないかと考え、包括協定を結んだ近畿大学の総合社会学部と連携し、従来の講義形式ではなく参加型のクイズ形式による身近なプログラムに一新した。クイズの後は大学生が小学生と一緒に班に分かれて考えていく形式を取る。今年は 1 校でも実践するべく現在小学校と調整中である。

○ヒアリング先評価と優良事例の発表

(ヒアリング先評価は、仮評価から本評価で変更になった箇所を中心に発表)

◆ 1 班

・ 評価の変更

所属	対象帳票	仮評価	本評価	変更理由
防災安全課	帳票 3 別紙	△	○	ヒアリングで、大体実施している項目でも「実施していない」を選択していることが判明したため、提出し直してもらい、再計算した結果変更。
鹿ノ台小学校	帳票 3 別紙	○	◎	ヒアリングの結果変更。
中保育園	帳票 3	○	◎	子どもが中心となる取組を推進しており、独自性があるため。

・優良事例

所属	抽出した優良事例	抽出の観点
南こども園	園児が関心を持つリサイクルレンジャーに扮装し、分別意識を持たせる教育及びエコ通信による保護者への啓発を実施している。	独自の工夫が凝らされている
鹿ノ台小学校	①地域ボランティアのゲストティーチャーを招いた環境教育を実施している。 ②制服のリユースやグリーン化した運動場を地域と推進している。	独自の工夫が凝らされている
中保育園	子どもの発想によるみずたまレンジャー隊の節水取組を実施し、それが分別レンジャーの活動につながり、ごみの減量化を推進するなど、子どもが中心となる取組を実践している。	独自の工夫が凝らされている

◆ 2班

・評価の変更

所属	対象帳票	仮評価	本評価	変更理由
子育て支援総合センター/子どもサポートセンター	帳票3別紙	○	◎	ヒアリングの結果、「実施している」項目が増加したため。
政策企画推進課	帳票3	○	◎	約13,000枚という、大幅なペーパーレスの実績をあげていることに加え、参加者アンケートを実施し、ペーパーレス化の定着を図っているため。
教育支援施設	帳票3	○	◎	情操教育として実施している花、木の育成取組が新しい取組であり充実していたため。

・優良事例

所属	抽出した優良事例	抽出の観点
政策企画推進課	新規主要事業ヒアリングにおいて、ペーパーレス会議に取組み、約13,000枚の紙を削減した。	新しい取組である
環境保全課	・絶滅危惧種であるカワバタモロコの孵化に成功した。 ・子ども向けにキエーロの製作講座をおこなった。	新しい取組である
デイサービスセンター長楽	古新聞を、書道の練習、はり絵などのレクリエーションや紙のごみ箱に使用している。	新しい取組である
営繕課	雨水貯留や地中熱利用のヒートポンプなど、本来業務において設備の設置更新に積極的に取組み、成果が出ている。	大きな成果を挙げている
教育支援施設	支援施設としての情操教育の一環として、花、木などの育成に取り組む。	・独自の工夫が凝らされている ・新しい取組である
生駒南第二小学校	エコ委員会等で子どもたちが中心となり地域と共に活動を展開し、エコスクール審査においてグリーンフラッグを継続取得している。	大きな成果を挙げている

◆ 3班

・評価の変更

所属	対象帳票	仮評価	本評価	変更理由
広報広聴課	帳票2	○	◎	担当課と連携し、環境関連記事を目標の2倍掲載しており、紙面も分かりやすくなるよう工夫しているため。
生涯学習課	帳票3別紙	○	◎	ヒアリングで、実施している項目なのに「実施していない」を選択していることが判明し、再度計算し直した結果変更。

- ・優良事例
なし。

◆ 4 班

- ・評価の変更

所属	対象帳票	仮評価	本評価	変更理由
あすか野幼稚園	帳票 3	○	◎	クリーンデー、リサイクルデーなどの取組から園児に意識が根付いていることが確認できたため。
建築課	帳票 2	×	△	計画が 2 つあり 1 つは遅れているが 1 つは計画通り進捗していたため。

- ・優良事例

所属	抽出した優良事例	抽出の観点
情報政策課	各種システムの一部をクラウド化し、サーバー機器台数を 6 台削減した。前年度からトータルすると全体の 3 分の 1 削減し、消費電力削減に努めている。	大きな成果を挙げている
環境モデル都市推進課	近畿大学、教育委員会と連携し、市内小学生を対象に参加型の新たな環境教育プログラムを立案した。	新しい取組である
健康課	電動自転車や前年度に導入した 1 人乗り電気自動車「コムス」を家庭訪問時等工夫して活用し、きちんと利用記録を残しながら CO ₂ 排出を抑制している。	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の工夫が凝らされている ・大きな成果を挙げている
なばた幼稚園	緑ヶ丘中学校区の地域ぐるみによる“グリーンクリーン活動”に参加し、地域とともに活動を展開しているとともに、月に 1 回“幼稚園をきれいにする日”をもうけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の工夫が凝らされている
あすか野幼稚園	月 1 回のクリーンデー（清掃活動）と月 2 回のリサイクルデー（家庭から不用になったものを園児が持ち寄る）に取組み、園児に清掃・分別活動が根付かせている。	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな成果を挙げている

◆ 5班

・評価の変更
なし。

・優良事例

所属	抽出した優良事例	抽出の観点
桜ヶ丘小学校	①エコ委員会を中心とした積極的な環境活動 ・徹底した分別、昼休み消灯、節水 ・ミックスペーパーなどの紙リサイクル活動で 2,000kg/年以上回収実績をあげている。 ②保護者会、民生委員との地域連携でペットボトルキャップと古紙の回収をしている。	・大きな成果を挙げている ・独自の工夫が凝らされている
ふるさとミュージアム	館のイベントに、環境をテーマにしたものをうまく組み合わせ、来館者の増加につなげている。(柵田保全講演会、牛乳パックでの絵はがきづくり、バケツを使ったお米づくりなど)	・独自の工夫が凝らされている
優楽	①調理業者へ食品残渣堆肥化の協力要請を実施している。 ②利用者に負担のない節水システムを取り入れている。	・独自の工夫が凝らされている
生駒東小学校	・ガスヒーポンと緑のカーテンによる断熱化、緑化 ・ビオトープによる生物多様性の取組 ・エコ委員会による月平均 8kg のペットボトルキャップ回収 ・降水確率を意識した花の水やり	・独自の工夫が凝らされている ・大きな成果を挙げている

○各班への質疑応答

◇ 1班と5班に対し、1所属につき複数事例を挙げているところは、それぞれが推奨事例なのか、あるいは所属でまとめて1つで良いのかどちらか。

▶ 1班 中保育園は1つ

鹿ノ台小学校は推奨事例としては2つ

- ▶ 5班 桜ヶ丘小学校は推奨事例としては2つ
生駒東小学校は推奨事例としては1つ

○事務局より

- ・「ご意見シート」は、8月7日迄に返送してほしい。来年度に向けた改善点も「ご意見シート」に記入してほしい。
- ・8月8日に専門チーム会議を開催し、数値目標の達成状況の確認と、来年度の数値目標について検討する。それを受けて監査報告書案を作成し、会長・副会長の承認を経て各所属へフィードバックしていく。

以上